



庄巻の沈黙、豪壮なピアノ、 熱狂のサン=サーンス!

7/31 読売日本交響楽団

©T.Tairadate

平土間席から最上階席、オルガン横の席に至るまで、隙なく、小気味よく、ぎっしりと聴衆が詰まった7月31日の演奏会。指揮者・沖澤のどかの人気ゆえか、ピアニスト・阪田知樹の人気ゆえか。もちろん、最近好調の読売日本交響楽団への信頼度の高さゆえでもあろう。

プログラムの1曲目は、後期ロマン派の巨匠R・シュトラウスの名作交響詩「ドン・ファン」。理想の女性を求めて遍歴する主人公の姿が生き生きと描き出される。この音楽の勢いのよさと切れの良さこそ、沖澤の真骨頂であろう。読響も躍動し、オーボエも見事なソロで官能的な女性

を描き、華麗な絵巻物を繰り広げていった。曲の終り近く、主人公が破滅の運命をたどる個所で沖澤がつくり出した長い総休止における緊張の沈黙は、庄巻というべきものであった。

続いて演奏されたのは、ロマン派のピアノの超絶の名手リストの、ピアノ協奏曲第2番である。つい2日前には東京フィルを相手に清澄なモーツァルトの協奏曲を聴かせたばかりの阪田知樹が、この日は一転して、いかにもリストに相応しい豪壮な演奏を披露した。彼の幅広い表現力を示した一例であろう。

そして休憩後には、フランスの巨匠サン=サーンスの交響曲

第3番「オルガン付き」が、大木麻理のオルガン・ソロを加えて演奏された。沖澤の指揮は、やや落ち着いた、端正な音楽づくりではあったが、大詰めではテンポを猛烈に速め、熱狂の頂点をつくり出した。ホールを圧して鳴り響くオルガンの壮大な響きも聴衆を楽しませたことだろう。

(音楽評論・東条碩夫)



パイプオルガン：大木麻理



©T.Tairadate

(左) ピアノ：阪田知樹 (右) 指揮：沖澤のどか

ご来場者の声

今年初めてののどかさんタクト鑑賞。彼女の十八番、シュトラウスに圧倒され、リストではピアノの阪田さんとチェロの遠藤さんの駆け引きに涙し、最後に読響の迫力あるオケと大木さんのオルガンに大感動!!やはりサマ-ミュ-ザは最高です!!(40代・自営業・浜のマーラー) /凄かったとしか言いようが無い。プレトークは阪田知樹さんが仕切ってくれたがご自身の演奏曲目以外についても的確な解説で俄然期待が高まった。沖澤さんの指揮は緻密かつ大胆で予想を遥かに超えた。阪田知樹さんはこれ以上演奏は無いと思われるような素晴らしいものだった。このような素晴らしい演奏が聞けて生きていて良かったと思う次第です。(60代・無職・snakam55) / 1曲目の「ドン・ファン」から音の厚みを感じさせるダイナミックな演奏でした。リストの2番はあまり聴く機会がなく貴重な経験でした。阪田さんのピアノとチェロの遠藤さんの掛け合いも見事でした。(70代・無職・F) / 全てが良かったです!阪田さんのプレトークからサン=サーンスのオルガン付きまで、お腹いっぱい。演奏も華やかで耳に残りました。年一度のフェスタ毎年来てワクワクしますね。(50代・主婦・みっぼ) / 沖澤さんの指揮ぶりがとてもすてきでした。ドキドキできる時間をありがとうございました(日進町のゆうと)

フェスタサマ-ミュ-ザ KAWASAKI 2024 明日の公演情報

新日本フィルハーモニー交響楽団

完売御礼

当日券なし

ミュージア川崎シンフォニーホール

8.2(金) 15:00開演

マーラー：交響曲第7番 小短調『夜の歌』

※冒頭に予定しておりましたトークは行いません。何卒ご了承ください。

プレコンサート 14:20~

モーツァルト：弦楽四重奏曲第15番から第1、3、4楽章

ヴァイオリン：崔文洙、丹羽紗絵
ヴィオラ：安藤裕子/チェロ：佐山裕樹



指揮：ジョナサン・ソッド*

※当初発表の井上道義氏(指揮)から変更になりました。

ホール内でほっと一息つきませんか?

ホール2Fドリンクコーナー営業中♪

《サマ-ミュ-ザ期間限定》
コースタープレゼント!
*1杯ご注文につき1枚

♪大人気!
ミュージアどらやきも
期間限定で販売中!
¥200/個



MUZA's Recommend

年末恒例、秋山和慶の「第九」

名曲全集後期セット券 好評発売中!



ラインナップなど 詳細はこちら

*24/10/20まで

みなさんは、年末といえば何を思い浮かべますでしょうか?

クリスマス、紅白...、様々なイベントが浮かぶなか、きっと同時に「あのメロディー」が脳内に流れているに違いありません。そう、ベートーヴェンの「第九」です。4楽章で高らかに奏でられる「歓喜の歌」の大合唱は、年末ニッポンの風物詩ですね。

「英雄」、「運命」、「田園」と、ベートーヴェンのヒット曲は数あれど、最後の交響曲である「第九」の人気は別格です。

もちろん、ミュージアの12月も「第九」が大いに盛り上げてくれます。

川崎市フランチャイズオーケストラの東京交響楽団と、われらがチーフホールアドバイザー・秋山和慶の指揮という鉄壁の布陣で臨むミュージアの「第九」は、毎年売り切れ必至の大人気公演です。

そしてなんと! 今年は秋山和慶指揮者生活60周年。川崎市は市制100周年、ミュージアは開館20周年と、アニバーサリーが重なる特別な年なのです。

スペシャルアニバーサリーイヤーのクライマックスを、華やかに彩るミュージアの「第九」、どうぞお聴き逃しなく!

(事業企画課・ご)



指揮 秋山和慶



ソプラノ 盛田麻央



メゾ・ソプラノ 富岡明子



テノール 城 宏憲



バス・バリトン 加藤宏隆

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第202回

2024. 12.22(日) 14:00開演

ベートーヴェン:「レオノーレ」序曲 第3番
ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」

S ¥7,500 / A ¥6,500
B ¥4,500 / C ¥3,500
25歳以下当日券 ¥1,000



公演詳細ページ

年末おすすめ公演

MUZAパイプオルガンクリスマス・コンサート2024 4人のオルガニストとめぐるクリスマスの旅

2024. 12.21(土) 14:00開演

パイプオルガン:木村理佐、清水奏花
田宮 亮、原田真佑

チケット発売日

友の会先行 Web先行 一般

9/9(月) 9/12(木) 9/19(木)



MUZAジルバスターコンサート2024

2024. 12.31(火) 15:00開演

指揮:秋山和慶 パイプオルガン:松居直美
ピアノ:小川典子、宮本真奈
ギター:斎藤優貴 管弦楽:東京交響楽団

チケット発売日

友の会先行 Web先行 一般

9/17(火) 9/20(金) 9/27(金)



パートナーショップのご紹介 エンジョイ! 川崎!! Enjoy Kawasaki



特製つけ麺 (税込1,300円)

「つけ麺玉にて」

「玉」は「たま」ではなく「ぎょく」が店名。食券を購入 → 席に着く → 店員に食券わたす → つけ麺来るというシステム。つけ麺屋は初めて。特製つけ麺1,300円をいただいた。

のり、メンマ、煮卵、チャーシュー厚切り2枚、鰹節、魚介系つけだれとかなり太い麺。食べ切れるか心配だったが、完食。味は濃厚、ボリューム満点、麺は硬めで弾力あり。

鰹節がかなり効いていた。もう帰るだけだから途中ニンニク入れたらガッツリ系になった。しばんでいた元気が少し出た。

明日も頑張ります。

(AW)



かわさきデルタ

パートナーショップ特典

味玉 1個サービス ※「優待券」持参者のみ(1名)



フェスタサマーミュージア KAWASAKI 20年の歩み《写真展》

「ホール2Fホワイエ」や「20周年記念特設サイト」にて開催中!

*ホールでの開催はサマーミュージア期間のみ(2024.8.12まで)

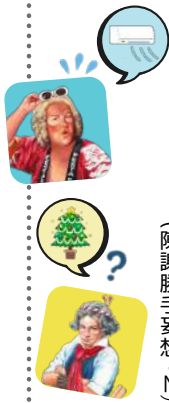


フェスタサマーミュージア公式サイト https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/

#サマーミュージア #ミュージア20周年で検索&投稿お待ちしております!



X: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki
YouTube: @kawasakisymhall



(陳謝勝手妄想・N)

「運番の帰りは、夢の中」

設備担当の運番は、夜の10時までの勤務である。日中に屋根によじ登ったり、60cm角のフィルター30個程を階段で運んで交換した日などは、帰りの電車では、ついウトウトしてしまう...。

「ハッハ先生、今年もまたサマーミュージアの時期が来ましたね。ところでなんで我々は、毎年夏に呼ばれるのでしょうか? 私の場合、年末の方がふさわしいかと思うのですが。」

「ハッハ先生、ハッハ先生、ハッハ先生、君それは、この国にはお盆という有難い制度があるからじゃよ。」先生、お盆は制度ではなく、風習ではないでしょうか。」

「うっ、まあ結果は同じだから、どっちでもよいじゃないか。ところでルートヴィヒ君、あの二人は、まだ来ないのかね。早く涼しいホールに入りたいのだがね。」

「二人とも浴衣の着付けに手間取っていました。もう間もなくでしょう。あ、ほら、傘とひよっこが見えましたよ。さあ、今年も楽しみましょう。」

スタッフ日誌